都合山（つごうやま）たたら跡発掘調査現地説明会のご案内

「都合山たたら跡」は、明治２２年～同３２年に根雨鉄山師近藤家が経営した「たたら場」として知られ、操業当時、東京帝国大学の俵國一博士の建屋の記録や近藤家文書、平成２０年に実施された発掘調査によって、令和元年に鳥取県指定史跡となっています。

史跡指定地内には未だ調査できていない区画があるとともに、周辺にも製鉄遺構の存在が指摘されており、そのため現在、都合山たたら跡で行われていた明治以前の製鉄業の状況を明らかにするための発掘調査を実施しています。

調査の結果、鎌倉～室町時代、江戸時代のものと考えられる製鉄炉の地下構造の一部を確認することができました。つきましては、現地説明会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

記

１．日　時　　**令和８年１０月３日（土）**
説明会は下記の２回実施します
①現地説明１４時００分～（受付１３時～１３時２０分）
②現地説明１４時３０分～（受付１３時４０分～１４時００分）
※小雨決行

２．受付場所　　滝山公園駐車場（日野町中菅）※事前申込不要、参加費無料

３．駐車場　　滝山公園駐車場をご利用ください。

４．現地説明　　日野町教育委員会　３０分程度

５．その他　　滝山公園からバスで林道（遺跡入口）まで移動し、そこから１０分～１５分程度、山林の中（未舗装）を歩きます。動きやすい格好でお越しください。

製鉄炉地下構造の一部

近世高殿跡

【問い合わせ先】
日野町教育委員会事務局　担当　若林
Tel:0859-72-2107 携帯 090-7776-0035